

## 日本海藻協会ニュース

2008年12月15日

### I. 協会事務局から

#### 1. 第12回マリンバイオテクノロジー学会大会の協賛

マリンバイオテクノロジー学会からの要請を受けて第12回マリンバイオテクノロジー学会大会（東京開催）を協賛することになりました。同大会の詳細は別項をご覧ください。

#### 2. 訃報

本協会の元特別会員である**鈴木宗一郎氏**（元日新化成工業(株)社長）が、去る11月3日に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。同氏は日本における海藻工業製品（寒天・カラギナン）発展の歴史とともに歩まれた方です。（添付資料参照）

#### 3. シンポジウム等に対する要望をお寄せください

今後のシンポジウムや講演会について、テーマ、講師、開催地などについて会員からの要望を募ります。提案を事務局宛に積極的にお寄せください。

### II. 海藻関連ニュース

#### 1. 日本藻類学会第33回大会－沖縄-2009－

日本藻類学会第33回大会－沖縄-2009－が2009年3月26－29日に琉球大学(沖縄県千原)で開催されます。日程の概要は次の通りです。詳細は日本藻類学会ホームページ(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsp/Welcome.htm>)をご覧ください。

3月26日（木） 評議員会、ワークショップ I

3月27日（金） 口頭・ポスター発表、総会、懇親会

3月28日（土） 口頭・ポスター発表、公開シンポジウム、  
ワークショップ II（30日まで継続）

3月29日（日） エクスカーション（カサノリ生育地での観察会など）、  
ワークショップ II（30日まで継続）

## 2. 平成 21 年度日本水産学会春季大会

平成 21 年度日本水産学会春季大会が 2009 年 3 月 27-31 日に東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区港南 4-5-7）で開催されます。研究発表等の申込み締切りは 2009 年 1 月 15 日、研究発表しない人の参加申込み締切りは 2009 年 2 月 20 日です。詳細は日本水産学会のホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsfs/> をご覧ください。

## 3. 第 12 回マリンバイオテクノロジー学会大会（日本海藻協会協賛）

第 12 回マリンバイオテクノロジー学会大会が下記の要領で開催されます。

日程： 2009 年 5 月 30 日（土）～31 日（日）

会場： 早稲田大学大久保キャンパス 63 号館

大会事務局： 〒162-8480 東京都新宿区若松町 2-2

早稲田大学先端生命医科学センター

早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 生命医科学科内

第 12 回マリンバイオテクノロジー学会大会実行委員会

TEL: 03-5369-7326 FAX: 03-5369-7302

E-MAIL: assoc-marine@list.waseda.jp

懇親会： 5 月 30 日（土）18:00～20:00 63 号館 第 2 教室

大会の内容： 1. 一般講演（口頭発表、ポスター発表）

2. シンポジウム（一般） 3. 懇親会

\*シンポジウムの企画を公募しています。企画ご希望の方は大会事務局までご連絡下さい。

発表形式：1. 口頭発表：一般講演は質疑含み 15 分（液晶プロジェクター使用）

2. ポスター発表：学生を対象とした優秀ポスターの表彰を予定

一般講演のセッション：

1. 微生物 2. 微細藻 3. 海藻・付着生物 4. 魚介類

5. 天然物化学・未利用資源 6. バイオミネラルゼーション

7. マリンゲノム 8. 環境・環境適応 9. その他

発表申込みの締め切り： 2009 年 3 月 13 日（金）必着

講演要旨の締め切り： 2009 年 3 月 31 日（火）必着

事前参加登録締め切り： 2009 年 4 月 30 日（金）必着

講演申し込み方法： 発表希望者は書式に従って、発表希望セッション、希望発表形式、発表者氏名・所属略記（連名の方全員）、演題を明記の上 web 上よりお申し込み下さい。

参加登録方法：参加登録希望者は書式に従って、申込者氏名・所属および連絡先を明記の上、web上よりお申し込み下さい。詳細は大会ホームページでご確認下さい。

第12回大会ホームページアドレス：<http://www.waseda.jp/assoc-marine/>  
学会ホームページ：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsmb/index.html>

#### 4. 第9回国際藻類学会議

第9回国際藻類学会議 (The 9th International Phycological Congress, IPC9) が2009年8月2-8日に東京代々木のオリンピック記念青少年総合センターで開催されます。経済的支援申請の締切日は2008年12月1日、ワークショップ申込み締切日は2009年2月1日、早期参加登録及び発表要旨提出の締切日は2009年3月31日、参加登録・宿泊・エクスカーション等の取消し期限は2009年5月15日です。

会議事務局：G.education Co., Ltd., Ginza 1-15-2, Chuo-ku, Tokyo  
Tel. 03-3563-2890, Fax. 03-3563-2892, [ipc9@ec-inc.co.jp](mailto:ipc9@ec-inc.co.jp)  
詳細は<http://www.ec-japan.jp/ipc9/index.html> をご覧下さい。

### III. カレンダー

- 2009.3.26-29. 日本藻類学会第33回大会 (沖縄 琉球大)
- 2009.3.27-31. 平成21年度日本水産学会春季大会 (東京 東京海洋大)
- 2009.5.30-31. 第12回マリンバイオテクノロジー学会大会 (東京 早稲田大学大久保キャンパス)
- 2009.8.2-8. 第9回国際藻類学会議 (東京 オリンピック記念青年総合センター)

### IV. 海藻 Q & A

Q12- 「岩のり」と「青のり」は違うものですか？

A- 「あおのり」(青のり)は、ボウアオノリ、スジアオノリ、ウスバアオノリ、ヒラアオノリなど**緑藻**アオノリ属 (*Enteromorpha*) の海藻の総称です。「岩のり」は、**紅藻**アマノリ属 (*Porphyra*) の海藻のうち天然の岩などに着生しているものを指します。オニアマノリ、スサビノリ、ウップルイノリなど数種のアマノリで岩の上や場合によっては「のりはた(のり畑)」とよばれる海岸の潮間帯に人工的に造成されたコンクリート平面などの上に生育するもので、干潮時に手で摘み取って集めたものが食用にされます。このような天然のアマノリを「養殖ノリ」に対して「岩ノリ (岩のり、岩海苔)」と呼んでいます。(なお、岩の上などに生育する「あおのり」を「岩

のり」と呼んでも、間違いとは言えないでしょう。)

また、山間の河川の上流（溪流）の岩の上などに生育するカワノリ（*Prasiola japonica*）と呼ばれるアマノリに似た緑色の淡水藻があり、大判の四角な乾し海苔状に抄かれたものがあります。これは淡水産の緑藻です。アマノリと同じように焼いて食べますが、甘味があって美味しいものです。

#### これまでのQ&A

- Q1－「海藻」と「海草」は同じですか。（No.2 に掲載）
- Q2－ノリの「色落ち」って何ですか。（No.2 に掲載）
- Q3－海藻が多様な色彩を呈するのはなぜか？（No.3 に掲載）
- Q4－コンブやワカメは湯通しするとなぜ緑色になるのか？ 焼き海苔はなぜ緑色か？（No.3 に掲載）
- Q5－海苔が湿気ると赤紫色になるのはなぜか？（No.3 に掲載）
- Q6－テングサという種名の海藻はないのですか？（No.4 に掲載）
- Q7－「うみぶどう」は海藻の名前ですか？（No.5 に掲載）
- Q8－「キラ－海藻」って何？（No.6 に掲載）
- Q9－日本の海苔は輸出されていますか？（No.6 に掲載）
- Q10－「髪菜（はっさい）」は海藻ですか？（No.7 に掲載）
- Q11－中国で栽培（養殖）されているノリは日本のノリと同じですか？（No.8 に掲載）

☆☆

この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月1回（毎月15日付で）発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F

マリン・サイエンス株式会社 内

### 日本海藻協会事務局

編集者：有賀祐勝 ([arugay@mx4.ttcn.ne.jp](mailto:arugay@mx4.ttcn.ne.jp))

☆☆